

質 問 回 答 書

2022 年 6 月 27 日

「全世界 2022 年度案件別外部事後評価:パッケージ1-1(インド)(QCBS)」

(公示日:2022 年 6 月 8 日/調達管理番号:22a00132)について、質問と回答は以下の通りです。

通番号	当該頁項目	変更事項	
***	「企画競争説明書」 P.3 第 1 章 企画競争の手続き 4. 担当部署・日程等 (3) 日程 9 評価結果の通知日	「9 評価結果の通知日」を以下のとおり修正する。 変更前 : 2022 年 7 月 25 日 変更後 : 2022 年 <u>8 月 3 日</u>	
通番号	当該頁項目	質問	回答
1	「企画競争説明書」 第 2 章 特記仕様書案 第 4 条 業務の実施方針及び留意事項(2)安全配慮と現地調査範囲 1)インド:インドにおける持続可能な開発目標に向けた日印協力行動に関するプログラム (13 ページ)	最終段落に「それが周辺道路の安全性、経済活動や市民生活にどのような影響をもたらしているかを確認する」との記載があります。本事業の対象地域(インド全土)、および運用・効果指標は、特定の地域・道路に紐づいておらず、周辺道路の特定は困難であり、本文上の記載は誤植と思われますので、ご確認をお願い致します。	ご理解のとおりです。以下の通り修正いたします。 <修正前> 「事業開始前と事業完了以降の実績値を確認し、それが周辺道路の安全性、経済活動や市民生活にどのような影響をもたらしているかを確認する。」 <修正後> 事業開始前と事業完了以降の実績値を確認する。

2	<p>「企画競争説明書」 第2章 特記仕様書案 第4条 業務の実施方針及び留意事項(2)安全配慮と現地調査範囲 3)インド:新・再生可能エネルギー支援事業(フェーズ2) (15ページ)</p>	<p>踏査先サイト数の指定がないため、見積金額に反映することができません。想定されている踏査先サイト数を示してください。</p>	<p>本調査の踏査サイトは、計21箇所とし、そのうち業務従事者による踏査サイトは5箇所以上(風力、太陽光、小水力発電から各1つ以上を含む、ラジャスタン州、アンドラプラデシュ州から各1つ以上を含む)とします。その他は、現地補助員による踏査も可能とします。</p>
3	<p>「企画競争説明書」 第2章 特記仕様書案 第4条 業務の実施方針及び留意事項(2)安全配慮と現地調査範囲 3)インド:新・再生可能エネルギー支援事 (15ページ)</p>	<p>新・再生可能エネルギー支援事業については、「首都近郊の案件の他、地方のサイト(アンドラプラデシュ州近郊のサイト)から、事業規模や再生可能エネルギーの種類を考慮し、バランスよく踏査先を選定する」とあります。一方、貸与資料(PCR)にある21件のサブプロジェクトリストには、デリー首都圏近郊のプロジェクトはなく、隣接するラジャスタン州及びパンジャブ州にはサブプロジェクトがあります。特記仕様書にある「首都近郊の案件」とは、これらラジャスタン州及びパンジャブ州のことを指しているのでしょうか？ 因みにデリーからラジャスタン州の州都ジャイプールまで約300km(車で6~7時間)、パンジャブ州の州都チャンディガールまで約250km(車で5~6時間)です。</p>	<p>「首都近郊」の概念が不明瞭で大変失礼しました。ご指摘の通り、特記仕様書で指しているのは、「ラジャスタン州及びパンジャブ州」です。</p>
4	<p>「企画競争説明書」 第2章 特記仕様書案 第5条 調査の内容 (5)定性</p>	<p>ガンジス川流域都市衛生環境改善事業の本詳細分析(ウェルビーイング)に要する業務量の目安として、現地補助調査員7人日分程度を想定してい</p>	<p>定性調査対象住民45人を対象にウェルビーイングについてもインタビュー調査を実施した結果、約8割程度がウェルビーイングに変化があ</p>

	調査/定量調査 & (6)詳細分析 (17,18,19 ページ)	るとのことですが、その根拠を教えてください。	ったと回答して詳細分析すると仮定して算出しています。なお、現地補助調査員の調査日数(7日)には休憩時間や移動時間等も含まれます。
5	「企画競争説明書」 第2章 特記仕様書案 第5条 調査の内容 (7)IRR再計算 (19 ページ)	審査時に IRR を算出した際のエクセル表は、ソフトコピーとして、貴機構に残っておりますでしょうか。ソフトコピーの有無で、業務量の変動が想定されるため、上記お伺いする次第です。	ソフトデータ(エクセルシート等)の提供はない、との条件でプロポーザルのご提案をお願いいたします。
6	「企画競争説明書」 プロポーザルにて提案を求める事項 (22 ページ)	提案を求める内容の No2「現地調査補助員の備上方法について」ですが、こちらは契約形態ではなく、雇用する現地調査補助員の専門性・経験、アサインする業務量と業務スケジュール、担当補助業務などについて具体的に提案するという理解でよいでしょうか。	複数の対象地域がある場合に、どのように現地調査補助員を活用して調査を行うか(例:複数箇所を複数で同時に踏査する、業務従事者と一緒に踏査する、等)の提案が想定されます。対象サイトの調査に必要な現地調査補助員の活用方法について、具体的に記載ください。脚注 11 もご参照ください。
7	「企画競争説明書」 プロポーザルにて提案を求める事項 (22 ページ) 「コンサルタント等契約におけるプロポーザル作成ガイドライン(2022年4月版)」 2. プロポーザル作成にあたっての留意事項 (4)プロポーザルの体裁等 (12 ページ)	応札者がプロポーザルの中で行った提案について特筆すべき箇所があれば、リストに記載をしよう求められています。この「特筆すべき箇所」とは、特記仕様書の内容と異なる内容の提案を指すのでしょうか。言い換えれば、特記仕様書の内容と異なる内容の提案がなければ、リスト上への記載は不要でしょうか。それとも、特記仕様書の内容と合致している内容でも、特筆すべきと応札者が判断すれば、それはリスト上に記載すべきでしょうか。	「特筆すべき提案」に特段の制限は設けておりません。 特記仕様書の内容と異なる内容の提案がない場合には、リスト上への記載をされないことは問題ありませんし、応札者として特筆すべきと判断された場合には、記載いただいても問題ありません。 特記仕様書の内容と異なる提案をされる場合には、リスト上へ記載いただきたくよろしくお願いいたします。

8	<p>「企画競争説明書」 第3章 プロポーザル作成に係る留意事項 2. 業務実施上の条件 2) 配布資料(当該案件のみ) (24 ページ)</p>	<p>新・再生可能エネルギー支援事業の PCR の 11 ページに「3-4-1 Operation and Effect Indicator (ANNEXURE ENCLOSED)」の記載がありますが、同 ANNEXURE について、同 PCR には見当たりません。 追加で提供いただけませんか？</p>	<p>配布資料に「Annexure I: STATUS UPDATE OF PROJECTS UNDER JICA II OC AS ON 10 MARCH 2020」に含まれております。こちらをご参照ください。</p>
9	<p>「企画競争説明書」 第3章 プロポーザル作成に係る留意事項 2. 業務実施上の条件 2) 配布資料(当該案件のみ) (24 ページ)</p>	<p>インドにおける持続可能な開発目標に向けた日印協力行動に関するプログラムの PCR は、2019/20 年度のみ Joint Evaluation Sheet でした。 2017/18 年度および 2018/19 年度の Joint Evaluation Sheet も追加で提供いただけませんか？</p>	<p>現時点では、配布資料を参考に、プロポーザルの作成をお願いいたします。</p>
10	<p>「企画競争説明書」 第2章 特記仕様書案 第4条 業務の実施方針及び留意事項(2)安全配慮と現地調査範囲 2)インド:ガンジス川流域都市衛生環境改善事業(バラナシ)</p>	<p>ヒアリング先に環境森林省国家河川保全局が入っているが、ガンジス川の環境保全に関する管轄は 2014 年以降 National Mission for Clean Ganga, Ministry of Jal Shakti (Department of Water Resources, River Development & Ganga Rejuvenation) に移管されていると理解している。ヒアリング先も変更で問題ないか。</p>	<p>ご理解のとおりです。</p>
11	<p>「企画競争説明書」 第2章 特記仕様書案 第5条 調査の内容 (5) 定性調査/定量調査</p>	<p>対象エリアに「スラム地区を含む」とあるが、治安上スラムに日本人が立ち入って調査ができるのか。現地調査員だけしか入れない等の状況も考慮する必要があるか。</p>	<p>スラム地区については、現地補助員による踏査を想定してご提案ください。</p>

12	<p>「企画競争説明書」 第2章 特記仕様書案 第5条 調査の内容 (5) 定性調査／定量調査</p>	<p>「住民選定は、男女比、年齢層が平均的に分散するように考慮しつつランダムに行う。」とあるが、「平均的に分散するように」というのはどういう意味か。</p>	<p>以下のとおり修正いたします。</p> <p><修正前> 「住民選定は、男女比、年齢層が平均的に分散するように考慮しつつランダムに行う。」</p> <p><修正後> 「住民選定は、男女比は平均して、年齢層毎に分散するように考慮しつつランダムに行う。」</p>
13	<p>「企画競争説明書」 第2章 特記仕様書案 第5条 調査の内容(7) IRR再計算</p>	<p>「ガンジス川流域都市衛生環境改善事業(バラナシ)」についてはIRRの再計算がスコープに入っているが、審査時点での計算方法(例:スプレッドシートファイル等)は業務開始後に共有頂けるのか。</p>	<p>契約後に提供する資料に計算根拠に関する情報はあります。ソフトデータ(エクセルシート等)の提供はない、との条件でプロポーザルのご提案をお願いいたします。</p>
<p>6/20 HP 掲載済</p>			
14	<p>「企画競争説明書」 第2章 特記仕様書案 第4条 業務の実施方針及び留意事項(2)安全配慮と現地調査範囲 3)インド:新・再生可能エネルギー支援事業(フェーズ2) (15ページ)</p>	<p>踏査先サイト数の指定がないため、見積金額に反映することができません。想定されている踏査先サイト数を示してください。</p> <p>に対して、6月20日回答では、下記の通りでした。 (JICA 回答) 本調査の踏査サイトは、計21箇所とし、そのうち業務従事者による踏査サイトは5箇所以上(風力、太陽光、小水力発電から各1つ以上を含む、ラジャスタン州、アンドラプラデシュ州から各1つ</p>	<p>本事業サイトは全7州計21箇所であるが、各州1件は業務従事者あるいは現地補助員どちらかが踏査することを想定。そのうち、業務従事者による踏査サイトは5箇所以上(風力、太陽光、小水力発電から各1つ以上を含む、ラジャスタン州、アンドラプラデシュ州、カルナタカ州から各1つ以上を含む)とする。</p> <p>現地補助員によるサイト踏査は、残りの7州16箇所のうち、8箇所以上を想定しています。その他のサイトは質問票やインタビュー等の遠隔の調査で可とします。</p>

		<p>以上を含む)とします。その他は、現地補助員による踏査も可能とします。</p> <p>これまでの事後評価では、サイトが全国分散型の案件については、セクター、地域、受益者の種類等の一定のクライテリアに基づき、代表的なサイトを選んで行っていたケースが一般的であったと理解しています。</p> <p>一方、本調査の踏査サイトの対象は全サブプロジェクト計 21 箇所、そのうち、業務従事者による踏査サイトはラジャスタン州、アンドラプラデシュ州の 5 箇所以上、現地補助員によるサイト踏査は、残りの 7 州 16 箇所(最大)となります。</p> <p>そのような場合、現地補助員が単独でサイト踏査を行うために必要な日数は、移動日等を含めると最低でも 35~40 人日程度は必要です。本パッケージの予定価格は、上記の現地補助員が単独で 7 州 16 箇所(最大)のサイト踏査を行うために必要な人日、旅費(日当・宿泊費)、航空賃、車両借上げなどの経費を十分勘案されたうえで、見積もられているとの理解でよいでしょうか？</p>	<p>なお、以下については、事業完了時点で工事中、または発電に関する情報が得られていないため、業務従事者か現地補助員のどちらかが踏査することを想定しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ヒマーチャルプラデシュの小水力 (COSMOS HYDRO POWER PRIVATE LIMITED) ● カルナタカ州の小水力 (SRI MARUTHI POWERGEN (INDIA) PRIVATE LIMITED) ● カルナタカ州の風力 (M/s Renew Wind Energy (Karnatka) Pvt. Limited) ● ラジャスタン州の風力 (M/S. TANOT WIND POWER VENTURES PVT. LTD.) ● ラジャスタン州の太陽光 (AZURE GREEN TECH PRIVATE LIMITED) ● ジャスタン州の太陽光 (AZURE SUN SHINE PRIVATE LIMITED)
15	<p>「企画競争説明書」 第 2 章 特記仕様書案 第 4 条 業務の実施方針及び留意事項(2)安全配慮と現地調査範囲 1) インド: インドにおける持続可能な開発目標に向</p>	<p>調査事項に、「過去の類似案件の教訓から、本事業の事前評価表には、「運用・効果指標を主管省庁が定期的にモニタリングできるものとする」点や「PMC や日印間の意見交換フォーラム開催等を通じ、これまでの JICA 事業に関連する対象分野に係る政策インプットの実施を検討」等が明記さ</p>	<p>過去の類似案件の教訓を活用した取り組みについて、評価 6 基準のうち、「妥当性」「整合性」「有効性」「インパクト」、可能であれば「持続性」の項目において、教訓を活用した結果(正負の影響の有無)を確認することを想定しています。上記に加え、ノンスコア項目である「適用・貢献」</p>

	<p>けた日印協力行動に関するプログラム (14 ページ)</p>	<p>れている。本事業では、これらの視点についてどのように対応されたかを確認する。」との記載があります。</p> <p>上記事項は、ノンスコア項目(レーティング対象外)として同項目内の「その他」で確認することとなりますか? 「その他」以外の項目で確認する場合には、その該当箇所をご教示下さい。</p>	<p>「付加価値・総合価値」の観点からも分析することを想定しています。</p>
--	---------------------------------------	--	---

以上